

三上っ子だより

三上小学校だより

No.9

令和6.9.19

TEL 587-0049

FAX 587-2245

学校教育目標

「やさしく、かしこく、たくましく生きる三上っ子の育成」

令和6年度全国学力・学習状況調査結果から

今年度、6年生を対象にされた調査結果（国語科、算数科、日常生活に関わる質問）より、本校児童の大きな傾向についてお知らせします。

国語科

◎全国平均を少し上回る結果であった。【平均正答率78%】どの領域においても力を発揮することができた。

【よかった点・強み】

◎全体的に無解答がほとんどなく、記述式の問題についても自分なりに答えを書こうとする粘り強い姿勢が見られた。

【課題】

△基礎基本である、学年相応の漢字を正しく活用することが苦手な傾向にある。（今回の検査では「競技」を文中で使用するの正答率が46%。）

△内容があてはまれば正答として扱われたため正答率とは関係なかったが、「記号で答える」と指示があった問題に対して記号以外の答えを書く児童が多数見られるなど、問いに合うように見直して回答することに課題が見られた。

【今後取り組んでいきたいこと】

☆情報と情報との関係付けの仕方（例えば違うページ、違う資料にある情報）を整理してまとめることは、国語科の学習だけではつかない力であり、他教科や総合的な学習の時間の中でも経験を重ねていく。

正答率が低かったのは以下の問題です。

※上の罫線用紙は下書き用紙なので、使っても使わなくてもかまいません。
解答は、解答用紙に書きます。
※◆の印から書きましょう。どちらうで行を変えないで、続けて書きましょう。

（条件）
○ 「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書くこと。
○ 「高山さんの取材メモ」の下欄に聞いたことから言葉や文を取り上げて書くこと。
○ 六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」
わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。
「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に応えんのを教えたり、下級生も楽しめるように、きょうぎの作戦を考えたりします。「みんなてつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに応えんして熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思います。
「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールを、上げるようにしています。

【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について
6年生がくふうしていること
○遊びたいことを下級生に聞く
○ルールをくふうする
ドッジボール 上級生は遠くからボールを上げる
下級生に聞いたこと
○1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
○3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
○4年生 みんなが楽しそうであれしかった

二 高山さんは、次の「高山さんの文章」の考えた「たてわり遊び」のよさを書こうとしています。あなただけ高山さんなら、内容をもとにして、あなただけ高山さんなら、

この前のページに、「学校のよさ」や「たてわり遊びのよさ」をウェビングで整理したメモが書いてある問題文があります。

算数科

全国平均正答率をやや上回る結果であった。【平均正答率71%】

【よかった点・強み】

◎折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する問題に、必要な言葉を用いて説明することができていた。(全国平均よりも高い正答率。無回答なし)。

◎基本的な計算や、計算のきまりなどについての知識が身についていた。(全国平均よりも高い正答率。無回答なし)。

【課題】

△立方体の体積を求めるのに必要な情報を、他の立体(今回は球)から得た間接的な情報をもとにして取り出すことが苦手である。(一つの解答を導くのに、二つ以上の手続きが必要な問題に対するの苦手さ)。

△道のりや時間を使って、どちらが速いかを言葉や数を用いて説明することが苦手である。(多少の言葉の違いは正答として扱われたが、「道のり」と「距離」の意味の違いについて、知識のあいまいさが見られた)。

【今後取り組んでいきたいこと】

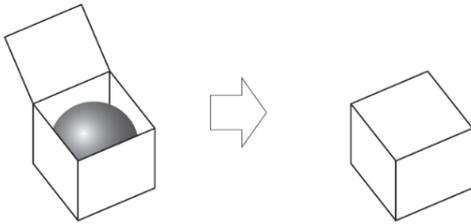
☆Cを求めるために、Aを求め、それを使ってBを導き、そこからCを求めるといった思考の流れが必要な学習を算数科の中で取り入れる。

特に正答率が低かったのは以下の問題です。

(3) 直径 22 cm の球の形をしたボールがあります。

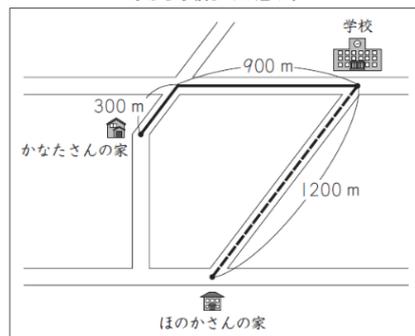


このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。
ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。

家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の 1 と 2 から選んで、その番号を書きましょう。
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

1 かなたさん
2 ほのかさん

児童質問紙について

【よかったところ】

◎朝ご飯の摂取率が高い。

◎テレビゲームなどをする時間が2時間以内と答えた児童が61.5%と全国平均よりも高い。

◎「将来の夢や目標を持っているか」という問いに強い肯定をした児童が69.2%と高い。

◎「人が困っているときは進んで助けますか」という問いに肯定的に答えた児童が96.1%。

◎「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか」という問いに肯定的に答えた児童が100%。

◎「人の役に立つ人間になりたいか」という問いに強い肯定をした児童が88.5%。肯定は100%。

…◎規範意識は高く、△自己有用感(自分は人の役に立つ)はやや低い。

◎国語より算数が好きな児童が多い。しかし、国語の力はついている。

◎国語の力は一定ついている。「国語の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つ」と考えている児童は全国平均より高い。

【気になるところ】

△「自分にはよいところがあると思いますか」という問いへ、強く肯定する児童の割合は全国平均よりも低い。

△生活習慣や学習習慣の定着は全国平均よりやや低い。

△「人の役に立つ人間になりたい」という問いに9割近い児童が強く肯定しているが、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の問いに対して「してみたい」と強く肯定した児童が全国や滋賀県の平均に比べてやや少ない。

【その他】

・全国平均より、パソコン、スマートフォンを持っている児童の割合が少ない。

【今後取り組んでいきたいこと】

☆普段から好んで読書したり、授業や宿題を丁寧に取り組んだりすることで、基礎基本の定着が図られていると考えています。今後も継続して取り組んでいきます。

<児童質問紙調査の内容例>

(11) 将来の夢や目標を持っている

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(12) 人が困っているときは、進んで助けている

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(13) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(14) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる

- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

こういった質問全63問に答えました。今年度はオンラインで直接タブレットで回答しました。

調査からわかることは、児童の学力や生活のごく一部ではありますが、わかってきた長所はいつそう伸ばし、見えてきた課題については今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。